

5 本時の指導

(1) 目標

- ・東京湾の環境をよくするための取り組みの良い点をもとに、東京湾の環境をよくするために自分がやってみたいことを考えることができる。

(2) 本時の指導

	4つの学習内容	○学習活動 ☆評価	7つの学ぶ力
つかむ		○前時に調べた、「東京湾の環境をよくするための取り組みのよい点」を振り返り、本時のめあてを確認する。  ＜めあて＞ 東京湾の環境をよくするために、自分がやっていきたいことを考えよう。	
考える	①体験 家庭科「持続可能な暮らしへ～調理計画を考えよう～」で体験したことを基に、環境や国民の健康を守るために自分たちができることを考える。  ④楽しさ 思いや願いを考え、本質に迫る。	○これまでの学習で学んだことをもとに、東京湾の環境をよくするために、自分がやってみたいことを考える。 (例) ・自分が出す排水を減らす生活を心がけていきたい。家庭科で取り組んだ環境にやさしい工夫は手間がかかるけれど、小さな積み重ねを続けていくことが大切だと気づくことができた。身近なところから自分でできることに取り組みたい。 ・水辺の学校や体験プログラムに参加してみたい。また、大人になったら自分が子どもたちに、環境について教えられるようにしたい。今だけでなく未来にもつながる取り組みを引きついでいくことで東京湾の環境が守られ続けていくと思う。  ○自分の考えと友達の考えを交流する。  ☆国民の一人として、国土の自然環境、国民の健康や生活環境の維持・改善について自分たちができることを選択・判断したりして、適切に表現している。【思・判・表②】(ノート・発言)	⑤考える力 国語「あなたは、どう考える」で、物事を多面的に見た力を活用する。  ⑦自分の生活や社会に生かす力 社会「これからの食料生産とわたしたち」「これからの工業生産とわたしたち」のまとめで学んだ社会に生かす力を活用する。
まとめる		○学習を振り返る。  ☆国民の一人として、国土の自然環境、国民の健康や生活環境の維持・改善について、自分たちができることを考えようとしている。  【態度②】(ノート・発言)	

第5学年 社会科

## 環境を守るわたしたち

授業日：1月22日5校時

授業者：田中 大輔

学 級：第5学年4組

1 小単元の目標

公害の防止と生活環境について、公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、地図帳や各種の資料で調べて関連図にまとめ、その働きを多角的に考え、表現することを通して、関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、国民の一人として国土の環境保全について自分たちができることを考えようとする態度を養う。

2 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、公害防止の取組を理解している。	①公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、問いを見だし、国土の環境について考え表現している。	①公害防止の取り組みについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解している。	②国土の環境や国民の健康な生活を関連付けて、公害防止の取組の働きを考えたり、国民の一人として、国土の自然環境、国民の健康や生活環境の維持・改善について自分たちができることを選択・判断したりして、適切に表現している。	②国民の一人として、国土の自然環境、国民の健康や生活環境の維持・改善について、自分達にできることを考えようとしている。

3 授業デザイン

学習指導要領 第5学年内容(5)我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に以下の各教科等・領域の内容、4つの学習内容、7つの学ぶ力をつないで、授業をデザインした。

各教科等・領域	4つの学習内容	7つの学ぶ力
家庭科 「持続可能な暮らしへ～調理計画を考えよう～」では調理時に出るゴミや汚水をできるだけ減らすことを意識して、環境にやさしい工夫を取り入れた調理の流れを実践する。また、社会科で学んだ水質改善のための取り組みを家庭科の調理実習の計画・実践に活用できるよう指導計画を工夫した。	①体験 家庭科「持続可能な暮らしへ～調理計画を考えよう～」で体験したことを基に、環境や国民の健康を守るために自分たちができることを考える。  ②人 東京湾の水質改善や国民の健康の向上に携わった人々の取組から、思いや願いを考える。  ④楽しさ 思いや願いを考え、本質に迫る。	①話す・聞く力 国語「よりよい学校生活のために」等で、議題に対する自分の立場を明確にして伝え合ったこと、事実と意見を区別して話した経験を生かす。  ⑤考える力 国語「あなたは、どう考える」で、物事を多面的に見た力を活用する。

4 指導計画

	オリエンテーション	つかむ		調べ・考える			まとめる	いかす		
時数	1	2	3	4	5	6	7	8	9 <b>本時</b>	
めあて	どうして水俣病は起こったのだろうか。	東京湾の水質について調べ、学習問題をつくらう。	学習問題に対する予想を考え、学習計画を立てよう。	国や東京都は、何をしてきたのだろうか。	工場などの企業は、何をしてきたのだろうか。	市民は、何をしてきたのだろうか。	学習問題に対する自分の考えを書こう。	東京湾の環境をよくするための取り組みを調べよう。	東京湾の環境をよくするために、自分がやっていきたいことを考えよう。	
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>水俣病の被害と原因について調べる。</li> <li>全国に広がる公害を調べて公害の原因を話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度は遊泳禁止になった東京湾で、51年ぶりに海水浴ができるようになったことから出た疑問をもとに、学習問題をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習問題に対する予想を話し合い、調べる計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料で国や東京都の取り組みを調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料で工業などの企業の取り組みを調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料で市民の取り組みを調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習から学習問題に対する自分の考えをまとめる。</li> <li>水質改善に向けた取組がまだ十分でないことに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京湾の環境改善に向けて、いま行われている取り組みについて調べ、その取り組みのよさを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京湾の環境をよくするために、自分がやっていきたいことを文章にまとめ、友達と交流する。</li> </ul>	
学習内容(児童のゴールの姿)	<p>&lt;まとめ&gt;</p> <p>日本の工業が発展した1960年ごろから、工業の盛んな地域では、工場の排水や排気により水質汚濁や大気汚染があり、人々の健康に大きな被害が発生した。</p>	<p><b>学習問題</b></p> <p>東京湾の水をきれいにするために、だれがどのようなことをしたのだろうか。</p>	<p><b>学習計画</b></p> <p>4:国や東京都の取組 5:工場など企業の取組 6:市民の取組 7:まとめ (8,9:選択・判断)</p>	<p>&lt;まとめ&gt;</p> <p>国が法律を定め、計画を策定し、予算化して事業を進めた。東京都は、下水道などのインフラ整備を進めた。</p>	<p>&lt;まとめ&gt;</p> <p>企業は行政の定める法律を守り、環境に配慮した製品を開発して、環境保全への対策を行っている。</p>	<p>&lt;まとめ&gt;</p> <p>市民団体の水をきれいにする活動や東京湾の海に親しむ活動が進められており、わたしたちの生活をより豊かにしてくれている。</p>	<p><b>学習問題に対する自分の考え</b></p> <p>関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきた。国土の環境保全の取組は、国民の健康な生活を守ることにつながっている。</p>	<p><b>取組</b></p> <p>○排水を減らす ○環境について知らせ、広める ○水質や生き物について調べる</p>	<p>&lt;まとめ&gt;</p> <p>(例)水辺の学校や体験プログラムに参加してみたい。また、大人になったら子どもたちに、環境について教えられたい。今だけでなく未来にもつながる取り組みを引きついでいくことで東京湾の環境が守られ続けていくと思う。</p>	
評価	知・技①	思・判・表①	態度①	知・技①	知・技①	知・技①	思・判・表②、知・技②	思・判・表②	思・判・表②、態度②	
各教科等・領域		<p><b>【家庭科】</b>「持続可能な暮らしへ～調理計画を考えよう～」</p> <p>調理に必要な技能を身に付ける。</p>		<p><b>【家庭科】</b>「持続可能な暮らしへ～調理計画を考えよう～」</p> <p>環境に配慮し生活排水を減らすためにできる調理の工夫を調べる。</p>			<p><b>【家庭科】</b>「持続可能な暮らしへ～調理計画を考えよう～」</p> <p>環境にやさしい工夫を取り入れた調理の流れを実践する。</p>			
4つの学習内容		<p><b>【①体験】【②人】【③モノ】</b></p> <p>第4学年の水道キャラバン</p>		<p><b>【②人】</b></p> <p>国や東京都の職員の思い</p>	<p><b>【①人】</b></p> <p>開発に携わった人々の思い</p>	<p><b>【②人】</b></p> <p>市民団体の人々の思い</p>	<p><b>【①体験】</b> 家庭科「持続可能な暮らしへ～調理計画を考えよう～」で体験したことを基に、環境や国民の健康を守るために自分たちができることを考える。</p>			
		<p><b>【③モノ】</b> 社会科ランドにある環境や公害に関する本を活用して調べる。</p>								
7つの学び力	<p><b>【①話す・聞く力】</b> 国語科「よりよい学校生活のために」等で、議題に対する自分の立場を明確にして伝え合ったこと、事実と意見を区別して話した経験を生かす。</p>									
	<p><b>【④調べる力】</b></p> <p>社会科・理科等で日常的に取り組んでいる、課題意識に基づき主体的に調べる計画を立てる力を活用する。</p>	<p><b>【③予想する力】</b></p> <p>社会科・理科で、資料を関連付けたり、条件を整理したりすることで何が導き出せるかを予想している力を生かす。</p>	<p><b>【②NIEで身に付く力】</b> NIEで学習した新聞から必要な情報を選択する力を活用する。</p>			<p><b>【⑤考える力】</b></p> <p>理科「電流のはたらき」</p>	<p><b>【④調べる力】</b></p> <p>社会科「これからの食料生産とわたしたち」「これからの工業生産とわたしたち」</p>	<p><b>【⑥まとめる力】</b></p> <p>国語科「グラフや表を用いて書こう」</p>	<p><b>【④調べる力】</b></p> <p>社会科「これからの食料生産とわたしたち」「これからの工業生産とわたしたち」</p>	<p><b>【⑤考える力】</b></p> <p>国語「あなたは、どう考える」</p>
	<p><b>【⑦自分の生活や社会に生かす力】</b></p> <p>社会「これからの食料生産とわたしたち」「これからの工業生産とわたしたち」</p>									
1組	1月9日(土)①	1月12日(火)④	1月12日(火)⑤	1月13日(水)④	1月14日(木)①	1月15日(金)①	1月16日(土)③	1月19日(火)④	1月20日(水)①	
2組	12月21日(月)①	12月22日(火)④	12月23日(水)⑤	1月12日(火)③	1月13日(水)⑤	1月14日(木)①	1月16日(土)①	1月18日(月)④	1月19日(火)①	
3組	12月18日(金)④	12月19日(土)②	12月21日(月)⑤	12月22日(火)③	12月23日(水)④	12月24日(木)②	1月13日(水)①	1月14日(木)③	1月15日(金)⑥	
4組	12月17日(木)③	12月18日(金)③	12月24日(木)③	1月12日(火)⑤	1月14日(木)⑤	1月16日(土)①	1月18日(月)⑤	1月20日(水)③	1月22日(金)⑤	

